

11/5 (木)

春日井の魅力発見ガイドウォーク

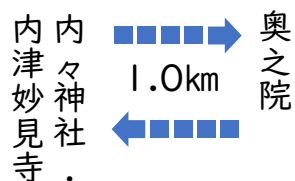
～内々神社・奥之院・北山ガイドウォーク～

協力
春日井文化財ボランティアの会

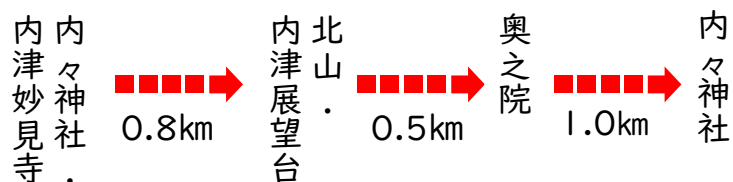
日時 令和8年11月5日(木) 9時30分
集合場所 内々神社 ※駐車場あり
対象人数 各コース10名程度
※各10名程度のグループで出発し、職員が随行します。

コース

① 奥之院往復コース 距離：約2.0km 所要時間：約2時間

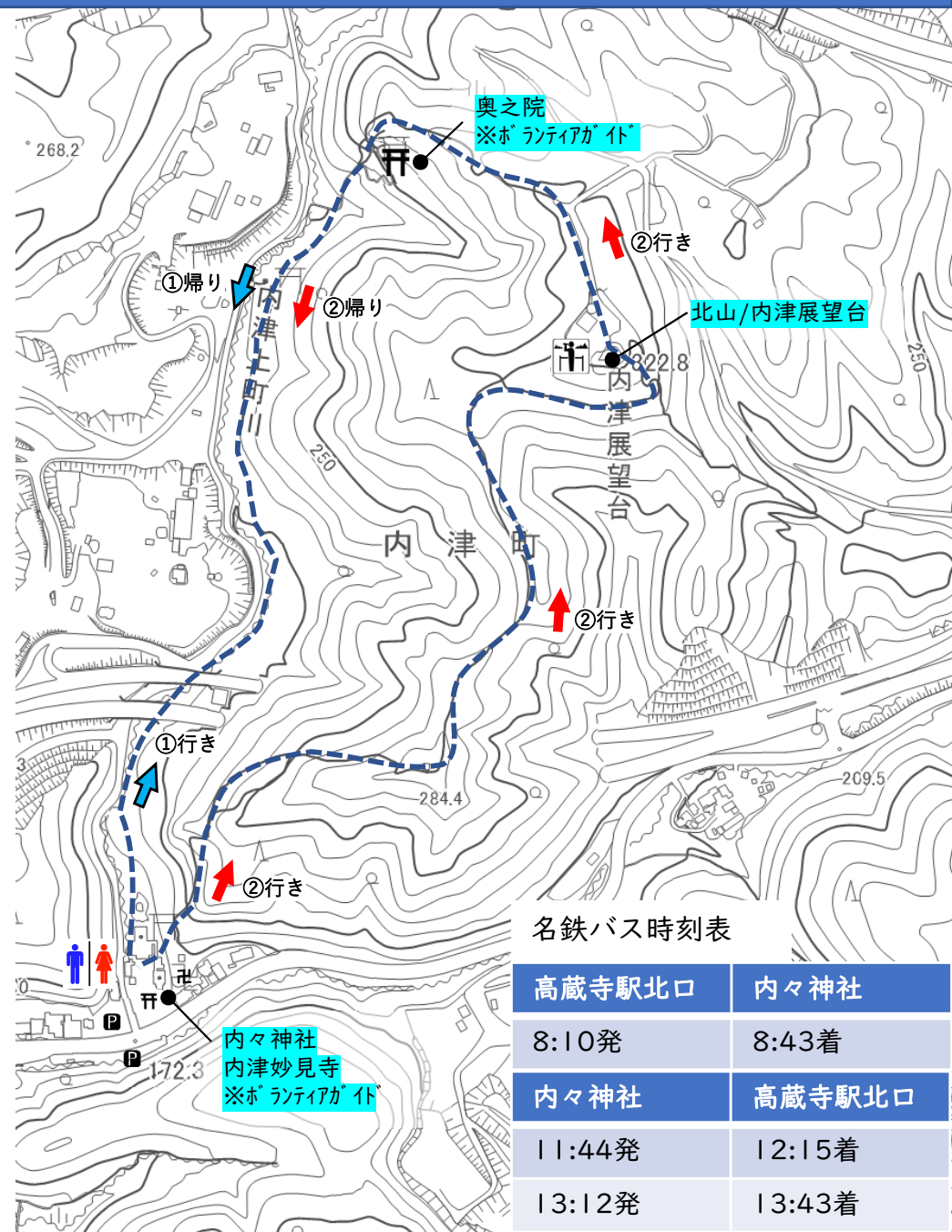


② 北山周回コース 距離：約2.3km 所要時間：約2.5時間



参加にあたっての注意

- ・両コースとも登山道となります。両手が自由に使えるリュックの活用や、登山靴・ハイキングシューズの着用をおすすめします。
- ・体調不良の場合は参加をご遠慮ください。
- ・歩行中は禁煙です。タバコは喫煙所で吸いましょう。
- ・ごみは各自で持ち帰り、環境美化に努めましょう。



名鉄バス時刻表

高蔵寺駅北口	内々神社
8:10発	8:43着
内々神社	高蔵寺駅北口
11:44発	12:15着
13:12発	13:43着

内々神社

名工の建てた社殿や美しい庭園が見どころ



【社殿】

江戸末期・信州諏訪の名工立川一族により建てられたものです。構造は、本殿と拝殿を幣殿つなぐ権現造りで、社殿の彫刻も合わせ、近世を代表する神社建築といえます。

※県指定文化財



【庭園】

本殿背後にある林泉回遊式の庭園は、南北朝時代の名僧・夢窓国師の作庭といわれています。裏山の景色を借景として取り入れ、傾斜を利用し自然石が巧みに配置されています。

※県指定文化財

【内々神社の始まり】

日本武尊が東征の帰路、内津の地で義理の兄「建稲種命が駿河の海で水死した」との報告を受け、「うつつかな、うつつかな」と嘆き、建稲種命の霊を祀ったのが始まりとされています。

内々神社/奥之院

岩の割れ目にある社殿

奥深い森の中に巨大な岩があり、鉄製の急な階段を上ると、岩の割れ目の中に社殿があります。かつては梯子で登ったとのこと。

三佛寺投入堂（鳥取県）を彷彿とさせる社殿の姿や、名駅ビル群が眺められる景色も一見の価値があります。



内津妙見寺

星の仏様・妙見菩薩をまつり、妙見さんと親しまれる



室町時代初期、密蔵院を開いた慈妙上人が内々神社の神宮寺として創建されました。

祭られる妙見菩薩のご神体は北斗七星で、古くから勝利をもたらす星として信仰されました。そのため武将の崇高が厚く、豊臣秀吉の朝鮮出兵時には戦勝祈願として、内々神社のご神木が軍船の帆柱として使用されました。

現在の本堂は元の護摩堂で、信州諏訪の立川一族に学んだ野村作十郎らにより建てられました。

すみれ塚

多芸多才な尾張の有力藩士 横井也有らの句碑

松尾芭蕉の「山路来て 何やらゆかし すみれ塚」の句碑をはじめ横井也有や長谷川三止らの句碑が6基立っています。江戸時代を中心に内津宿は、俳諧など水準の高い文化が発展しました。



北山/内津展望台

東屋壁面には東海自然歩道の情報が掲載

北山山頂を示す金属表の四等三角点があり、展望台からは名古屋方面の景色を見ることができます。展望台内部の壁面には、山々の説明イラストや東海自然歩道の行程が描いてあります。



カフェ コンタット
(あい農パーク春日井内)



野菜や果物を多く使ったメニューはもちろん、園内の採れたて野菜や果物を使用しているメニューもあります。

